

2016年10月10日

札チャレラジオ通信 第39回

札チャレ ラジオ通信 第39回

岡野：三角山放送局をお聴きの皆さんこんにちは。札チャレラジオ通信です。
本日のパーソナリティーは、NPO 法人札幌チャレンジドの岡野です。よろしくお願いします。
札チャレラジオ通信は、自立を目指すチャレンジド、障害のある人がITでマザル、ハタラク、拓きあう社会を作りたいとの思いで活動しているNPO 法人札幌チャレンジドが、毎週月曜日この時間に札幌チャレンジドの活動内容をお伝えする番組です。2016年の一年間放送しております。

今日は体育の日ということで、休日です。皆さんどうお過ごしでしょうか？北海道では学校の運動会は5月から6月ですが、本州はこの時期が多いようですね。地域によって色々と習慣が違うようです。北海道は今日もそうですが一気に秋になり、寒い日が続いていますねえ。外でのスポーツが厳しい季節になってきました。10月の体育の日は北海道人にとってはちょっとピンと来ないようだと思いますね。さて、本日の札チャレラジオ通信は休日というわけではありませんが、ゲストの方無しで岡野が一人で担当いたします。8月にも一人で札チャレの現状をお送りしましたが、今日はその続きとして、札チャレや、札チャレの周りでの課題や問題点などについて、お伝えしようかと考えておりますので、お付き合いよろしくをお願いいたします。

まず最初ですが、札幌チャレンジドは2000年に任意団体として、チャレンジド、障害がある人のためのパソコン講習会を始めて、昨年、丸15年が経過しました。15年を迎えるにあたり、私たち事務局員は、2014年に約一年間をかけて、15年目以降の札幌チャレンジドの活動の方向性について、色々と検討いたしました。その結果、団体理念の見直しや、ロゴマークの変更をいたしました。

まあ既にご存知の方も多いかと思いますが、2000年の設立時には、札幌チャレンジドは、自立を目指すチャレンジド、障害がある人のために、パソコンの技術習得によって、社会参加と就労を支援します、を理念にして活動を進めてきましたが、2015年には、札幌チャレンジドは、自立を目指すチャレンジド、障害がある人が、ITでマザル、ハタラク、拓きあう社会を作ります、を新たな団体理念に据えて、活動をすることといたしました。またロゴマークも、パソコンマウスのロゴマークから、活動的な赤を基調とした、パソコンのディスプレイをイメージしたロゴと、新しい価値観として唱える、mixcomを常に意識し

て活動を広げていくことといたしました。mixcom というのは造語で、まあ札幌チャレンジドが造り上げた言葉なんですけれども、団体理念の mix、マザルハタラクのこの mix です。

この mix と、最近のこのコミュニケーション、あるいはパソコンでのドットコムという言葉から引用してきています。その団体理念・価値観から、2015 年からは 2017 年の三年間の中期経営計画を立てて、今活動を進めています。

おそらくこの中期経営計画、ご存知の方は少ないかと思しますので、ちょっとご紹介をしたいなと思います。まず一番目に、mixcom の具現化ということで、先程札幌チャレンジドが造った造語の mixcom と、これを具現化していこうかということで、チャレンジしています。具体的にどうということかという、在宅就労の拡大ですとか、視覚障害者がまあ就労する機会を広げていくとか、発達障害のグレーゾーンの若者達の支援というのを色々広げていこうかなと、そして世の中混ざりあって、障害の方も健常の方も混ざり合って働ける、そういう世の中を作っていこうかなということで考えています。

二番目のテーマとしては、就労継続支援 A 型事業の賃金総額の向上というのを上げてます。就労継続支援 A 型。まあこれは法律用語なので、詳しくご存知ない方もいらっしゃるかと思いますが、簡単にいうと、札幌チャレンジドで働くと、札幌チャレンジドでいう就労グループの方ですね。この方々、札幌チャレンジドで働いている方々の賃金の総額を向上出来るように、新たな事業領域だとか新たな仕事、これの受託を進めて一人ずつの賃金の向上＝賃金の総額を向上していこうということと考えています。金額等についてはまた後ほどちょっとお話してみようかなと思っています。

中期経営計画の三番目、今度は就労継続支援 A 型メンバーの人材育成というのをテーマに上げています。先程二番目では、賃金総額の向上ということで、働いてる方の賃金を向上しようということで、目的に見据えてますけども、三番目は今度人材育成ということで、様々な障害のあるメンバーの方が働いていらっしゃいます。そのメンバー一人ひとりの、能力ですとか、体力ですとか、経験など、その人それぞれのレベルに即した人材育成っていうのはかかっていき、継続してずっと働き続けていくためのそういう職場ということで、今進めていきたいなと考えてます。色々今受託している仕事というのも、動画監視だとか、データベースの入力ですとか、色々な種類がありますけども、やはり一つの仕事をということじゃなくて、様々な仕事出来るような、人材になっていただければなと思います。そのための我々は育成支援というのを進めていきたいなと考えてます。

四番目です。今度は就労移行支援事業。札幌チャレンジドで一般企業の就職を目指して、

日々勉強している、訓練をしている、皆さんメンバーの方々の就労移行支援事業というのがあります。これの安定運営の実現というのをテーマに上げています。安定運営の実現って具体的にどういう事かということ、今私の移行支援、まあ就職を目指す方々の定員は10名で、日々支援させていただいていますが、毎年定員の40%ですから、10名のうち4名の方の就職というのを実現していこうということを考えています。

やはりこの移行支援というのは、二年間というちょっと期間が定められていますので、その二年の内に就職をしていただくという大きな目標があります。そういう方々が集まって、毎年4名の方の就職をコンスタントに上げていこうということを考えています。そのためには就職先、これをハローワークの方との連携ですとか、相談支援事業所の方、そういう方々とのこう連携を図っていかなきゃいけないのかなあというのを考えてます。ちなみに2015年は5名が就職しております。

ですから定員の50%ということで目標は達成してます。今年度の2016年度も順調にこの目標は達成出来そうな感じになっております。

最後、中期経営計画の目標の最後は職員の人材育成ということで、我々職員が色々支援をさせていただく上での、やっぱり色々な能力、あるいは経験、そういうのをレベルアップを図っていこうということで考えてます。社内研修というのはなかなかちょっと出来ない組織状況なものですから、メインには社外研修、こういうのに色々参加をしていただいて、それぞれの人材育成のための研修体験というのを作り上げていきたいなと思ってます。昨年から社外研修だけでなく個人の自己啓発、これに取り組む環境を整えようということで、この自己啓発にチャレンジした時に札幌チャレンジドとしても資金、支援をしていこうというような、そういう仕組みも作ってやっております。●●●●職員人材補助規定かっこいい名前ですね。結局、自己啓発をされた職員の方に、少しでもまあその支援をさせていただこうというような形をとっています。

以上のように中期経営計画、三年計画ですけども、この5つ。これのテーマをあげて札幌チャレンジドというのは進んでます。この中期経営計画以外に先程の団体理念、自立を目指すチャレンジドがITでマザル、ハタラク、拓きあう社会を作りますという団体理念。これの実施に向けた行動指針ということでは、アクセシビリティ思考、色々なそういう支援志向がありますけども。このシコウという字をちょっと捉えて、シコウというのを漢字に直しても、色々なこう漢字があるんですね。思い考える思考だとか、方向性の志向志すだとか、試しにやってみるだとか、全然違うんですけども趣味嗜好の嗜好というのもあります。こういう全てのシコウを我々はチャレンジドにして、進んでいこうかなと考えています。

札幌チャレンジドの15年経って、丸15年経って、16年目以降のどういう方向で進ん

でいくかという、ちょっと理念だとか中期経営計画、これをちょっとお話してだけで、ちょっと前半がまあ終わってしまいました。ここでリクエスト曲ということで、今日は私のリクエストです。「翼をください」と。皆さんはご存知だと思いますけど、一番初期の、赤い鳥の「翼をください」をお聴きください。

札幌チャレンジ通信後半やりましょう。その前に、今日のリクエスト曲っていうのは、私がちょうど高校、大学の頃ですね。この翼をくださいっていう曲、当時は赤い鳥というグループで初めて聞いた時に、このボーカルの山本潤子さん、この透き通った声に非常に、青春時代に心がこうドキドキしてたという思い出がありまして。多くの皆さんは、よくご存知かと思いますがね。今は確か教科書にも確かこの歌がのっかっているんじゃないかなという記憶をしています。私の学生当時の古い古い思い出の曲でした。

それじゃあ後半入っていきましょう。前半は、団体理念、中期経営計画ということをちょっとご説明しましたが、後半はそれぞれ我々に、札幌チャレンジの三つのグループがあるんですけども、このグループでの課題だとか、色々な問題点、こういうのをちょっとお話してみようかなと思ってます。

まず最初、2000年からスタートしたパソコン講習ですね。最初は事務所も無く、講習室も無しというところからスタートして、年々どんどんどんどん講習を受けられる人が増えて、最高では年間3000人ぐらいの方が、パソコンの講習を受けられたという実績が出てますが、最近はやっぱりどんどんどんどんちょっと減って、数百名という方々に、人数に減ったような形になってます。受講される方もちょっと見てみますと、意外とこう継続して受講されてる人が多いのかなぁと思っています。ですから、札幌チャレンジではこのパソコン講習、やはり、また新たなその受講生が受けていただけるようなこの講習、こういうのをちょっと考えていかなきゃならないのかなというのが一つ、大きな課題として挙げられます。

その課題の対策という訳じゃないんですけども、昨年、助成金でiPad、これを購入することができました。ちょうど、皆さんお年玉の年賀ハガキっていうのはご存知だと思うんですけども、この年賀寄付金というのがあって、これの助成金でiPadというのを10台、講師用で3台、13台購入させていただいて。昨年、じゃあそのiPadを使って、チャレンジ、障害のある方や、あるいは高齢の方へのiPad講習会をスタートしよう。ということで、取り組みを始めました。昨年は、結構カリキュラムを作るところからスタートしてますので、そんなに大きな講習会というのは開催できなかったようなんですけども、後半、こういう講習会をやりますよという案内をすればする度に、ほぼ満員になるというような形になって

ます。

やはり、従来のようにただパソコン講習ということだけじゃなくて、今、世の中 iPad がありスマホがありということで、色んなこの IT 機器というのが使われるようになってきてます。やはりこういう機器を使った実際の支援ということが、非常に必要になってきてるのかなと思ってます。ですから、今年度も今その iPad を使って、従来、札幌市から受託受けてます札幌市障害者 IT サポートセンター、札幌市の身体障害者福祉センターでやってるパソコン講習の中にも、iPad 講習というのを今年度から取り入れて、指導させていただいていきます。また来年もどんどんどんどん、こういう新たな機器を使った講習会というので、チャレンジをしていきたいなと考えています。パソコン講習については、以上のようなことです

ね。
続いて、就労継続支援サービス A 型。札幌チャレンジドでいうと就労グループ、この中身です。札幌チャレンジド、今 10 月現在では、利用者の方が 33 名いらっしゃいます。最近、障害の方も色々な複数だとか、色々な障害の方が多くて。今現在、身体の方で 14 名、精神・発達の方で 14 名、同じ人数ですね。知的の方と難病の方で 6 名という形で、全員で 33 名ほどの利用者の方が、札幌チャレンジドで働いていただけてます。以前は、やっぱり身体の障害の方が多かったんですけども、最近ではその精神とか発達障害、あるいは手帳が無い方の希望というのも増えてきてます。

以前社会人として働いていたんですけども、何らかの理由によって障害が生じて、そしてまだ一般企業ではちょっと自信が無いんで A 型で。という利用者の方が、結構今増えてるようなことが現状です。札幌チャレンジドは今現在、こういう方々の支援をしてますけども、実は就労グループ、職員の募集をしております。やはり、多くの方に色々な仕事をさせていただいて賃金をというのを考えた時に、やはり、利用者の方だけがが増えても、なかなかその支援っていうのがちょっと行き届かないのかなと思ってます。

そのために、札幌チャレンジドではその就労グループの職員この方々の求人というのを、ハローワークで出しております。ただなかなか今、応募という方がいらっしゃるんですけども、ちょっとまだ採用までには行ってません。是非、札幌チャレンジドでこの移行支援の従事していただいて、メンバーと一緒にパソコンで仕事をしていきたいという方がいらっしゃいましたら、是非応募をお願いできればなあと思います。


後、職員だけじゃなくて、実際に札幌チャレンジドの A 型で働いてみたいという方も、広く応募をかけています。札幌チャレンジドは、動画監視業務ですとか、航空運賃のデータベース化ですとか、画像処理、イラスト作成だとか色々な業務をしております。ですから、

パソコンでこういう業務をちょっとやってみたいなあと思う方がいらっしゃいましたら、是非また札幌チャレンジドの移行支援の方を利用したい、あるいはその前の体験をしてみたい、見学をしてみたいという方は、是非札幌チャレンジドに連絡をいただければなと思っています。

この就労グループ、ここでは大きな課題というか私どもが今捉えているのは、経営計画でも言ったように、業務委託企業の確保。やっぱり仕事をしてその賃金をお支払いするという形になってますので、この業務を委託していただける企業、これの社数だとか契約金額、これをもっともっと増やしていこうかなあと思っています。それと、チャレンジドの確保という。実際働いていただけるチャレンジドの方、それと三つ目としては、今まではそうやって業務、委託事業をやってたんですけども、そろそろ今度、札幌チャレンジド独自の自主事業というのを、ちょっとやってみたいなあと思っています。今一つ目として、イラストを出来る方が結構いらっしゃいますので、今札幌チャレンジドではLINE スタンプ。札チャレのLINE スタンプも、実際作成して販売をスタートしております。是非LINE お使いの方、札幌チャレンジドのLINE スタンプ是非購入のほどお願いいたします。

三つ目。今度就職支援ですね、就労移行支援サービス。札チャレで就職を目指す方々、こちらの就労移行支援と。定員は10名なんですが、一度札幌チャレンジドに来ていただいて、ご覧いただくとビックリする方もいます。かなり広いスペースで10名の研修というのを今スタートしてます。ちょうどこれも、15年のこのmixcomに合わせて、事業所、研修室を拡張して、なおかつ視覚障害のある方の就職支援にちょっと力を入れようということで、視覚障害者の方が毎日来られても、ちゃんと勉強、研修が受けられるような、そういう環境も配慮しました。ですから、通常は、こうクロス、絨毯的なクロスなんですけども、ここを見ていただくと、来ていただくと分かるんですけども、ちょっとタイル的なフロアということになってます。こういうところに視覚障害の方が歩いて上がられると、音で分かる。ですから、その固い音のところを歩いてくと、壁とかそういうのにぶつからないで、実際研修が受けられるという形になってます。

この移行支援での課題というのは、全ての障害者の雇用企業の拡大ということと、業務とチャレンジドのマッチング。やっぱり色々な障害のある方、この一人ひとりに合ったその仕事、企業、業務先というのをやはり是非見つけていきたいなあと思います。それと、勤めて就職できてそれで終わりということじゃなくて、札幌チャレンジドは定着支援にもかなり力を入れてます。実績でいくと、就職された80%の方が三年後も継続し続けているという実績があります。是非そういうところで、皆さん方お聴きの、あるいはお知り合いの方でも、就職に向けたことを勉強していきたいという方がいらっしゃいましたら、札幌チャレンジドに是非電話、連絡をしていただければなと思います。



今日は、札幌チャレンジ通信は私一人で行いました。エンディングが流れて、後わずかな時間です。構想の中でも説明しましたが、職員ならびに就労グループで働くメンバーさんや、移行での就職を目指す方々を募集しております。放送お聴きの方やお知り合いの方で希望される方、是非連絡をお願いします。お問い合わせは、札幌チャレンジド 011-769-0843、769-0843です。それでは、今日はこの辺で終わりたいと思います。来週は、理事長の加納さんが担当いたします。

では来週お会いしましょう。さようなら。